

議会だより

まちかど

栃木県那珂川町

№.82

令和8年2月10日

テーマ(まなび)
町の魅力は何か?

主な内容

12月定例会等の結果
ここが聞きたい! 一般質問(7人)

高校生との意見交換会
(2P~4P)

議会報告会

団体との意見交換会ほか

モニター意見・議会委員会のうごき等

(14P~15P)

(5P~11P)

(16P~17P)

(18P~20P)



一般質問を傍聴した中学生の感想



町の施策などを、どのように案が出て、どのようにして決められているのか知らなかったので、今日、改めて知ることができて良かったです。



町民の立場になり、それぞれの観点から話し合いがされていて、答弁に対して考える時間がないのにも関わらず、スムーズに話し合いをされていて、今後の勉強になりました。



町の細かい問題でも住民を第一に考え、解決させ、町を活発にしようとする姿勢がとても素晴らしいかった。議会の場には立てなくとも、町民として応援したいと思いました。



今まで知らなかった町のことを、議会という町の中心の部分から見ることができ、とても良かったと思いました。一町民として思っていることや、感じていることが多くあるので、誇れる那珂川町になってほしいと思いました。



多くの課題をもつ那珂川町ですが、住民のために解決していくと話し合ってくださっている様子を見て感動しました。

第6回 定例会議案採決(12月2日・5日)の状況

賛成:○ 反対:●

| 議案の内容 | 議員名 | 神場 | 矢後 | 高野 | 福田 | 大金 | 川俣 | 小川 | 大金 | 川上 | 小川 |
|---|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 圭司 | 紀夫 | 泉 | 浩二 | 清 | 義雅 | 正典 | 市美 | 要 | 洋一 |
| 承認第1号 令和7年度那珂川町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第1号 人権擁護委員の推薦意見について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第2号 那珂川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第3号 那珂川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第4号 那珂川町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第5号 那珂川町小川総合福祉センター条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第6号 那珂川町高齢者生産活動施設条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第7号 那珂川町緑の交流空間施設条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第8号 那珂川町まほろば農園条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第9号 那珂川町観光乗馬施設条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第10号 那珂川町緑地等利用施設条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第11号 那珂川町特産品生産施設条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第12号 那珂川町特産品展示販売施設条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第13号 那珂川町カタクリ山公園条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第14号 那珂川町ふるさとの森公園条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第15号 那珂川町ふるさと館条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第16号 那珂川町地域情報発信施設条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第17号 那珂川町公園管理及び使用に関する条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第18号 那珂川町なす風土記の丘資料館条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第19号 那珂川町郷土資料館条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第20号 那珂川町子どもの森条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第21号 那珂川町体育施設条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第22号 那珂川町学校体育施設の開放に関する条例の一部改正について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第23号 令和7年度那珂川町一般会計補正予算(第5号)の議決について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第24号 令和7年度那珂川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の議決について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第25号 令和7年度那珂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の議決について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第26号 令和7年度那珂川町介護保険特別会計補正予算(第3号)の議決について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第27号 財産の取得について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第28号 那珂川町図書館に係る指定管理者の指定について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 議案第29号 栃木県市町村総合事務組合規約の変更について | 町長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 | 議長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 発委第1号 那珂川町議会基本条例の一部改正について | 委員長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 発委第2号 那珂川町議会の議員の定数を定める条例の一部改正について | 委員長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 発委第3号 那珂川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について | 委員長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 発委第4号 那珂川町議会委員会条例の一部改正について | 委員長提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |

※益子明美議長は採決に加わりません。



一般質問！ 高野 泉 議員

Q 新町長のこれから町づくりについて

「将来を担う子どもたちが活躍できる力をはぐくむ」という公約について、どのように考えるか

(町長) 安心して子育てができる町、子どもたちの笑顔があふれ、

未来への希望に満ち、わくわくする那珂川町を目指す



高野 泉 議員

町の広報の扱い手であるという意識を持ち、情報収集・発信に取り組む必要がある。町独自の魅力を多角的に発信していく体制を構築していく。

質問 「日常生活を快適に過ごすため」の公約について、どのように考えているか。

答弁 この町に生まれ育った子どもたち、未来を背負う若者が、住む地域や育つた環境によって進学や夢をあきらめることのない町づくりをしていかなければならぬ。

質問 「馬頭高校の存続」の公約について、どのように考えているか。

答弁 馬頭高校は、那珂川町の未来を切り開く希望。地域の宝である学校を守り、さらに発展させていくために全力を尽くす。

質問 「町の情報発信」における公約について、どのように考えているか。

答弁 情報の発信は特定の部署だけが行うものではない。全職員が



公約について答弁する益子純恵町長

質問 「町の産業と地域コミュニティの発展」の公約について、どのように考えているか。

答弁 後継者の育成、農業において新規就農された方が継続して営農できるよう技術指導を含めて支援をしていきたい。観光においては、町内を周遊できる回遊型観光を推進するための導線を整えていきたい。

質問 「那珂川町で在り続けるための人口減少対策」という公約について、どのように考えているか。

答弁 私たちの故郷、那珂川町を次の世代に、しっかりと繋いでいくため、人口流出の防止に努めたい。那珂川町に住んで幸せであると感じて生活ができることが必要だと考える。

質問 町の発展のためには、町長自らがトップセールスマントして積極的に活動することが欠かせないと考えるが、町長自身が果たすべき役割や取組は。

答弁 那珂川町がさらに輝ける町となるよう、住んでよし、訪れてよしの魅力ある町となるよう、全身全霊でトップセールスの役割を果たし、邁進していく。

般質問！ 大金 清議員

Q 新町長の選挙公約について

農林業従事者の育成と確保の具体的な政策は

(町長) 就農希望者に対する相談会や



大金 清 議員

林業の魅力を情報発信している

に着手し、現在、設計を実施して
いる。

質問 町道一渡戸大鳥線1.6kmが未計画であるが、いつまでに行なうのか。

答弁　国道293号との交差点について、関係機関と協議を行い、改良計画について検討していくた
い。

質問 出産祝い金制度の創設の具体的な考えは。

答弁 具体的な検討はこれからである。現在の事業の効果を検証し、新たな命の誕生のお祝いを、子育て支援施策の一つとして、先進地事例を調査し検討したい。

質問 出産祝い金制度を県内の市町で独自で実施している市町を把握しているか。

答弁　把握している市町としては、金額は3万円から5万円、対象は第2子や第3子以降としている。

質問 次期振興計画を策定中であ

るか 新町長としての思いを 興計画に盛り込むのか。

答弁 振興計画は、私の思いを実現するために町民の皆様と共有するものであることから、10年後・

質問 町の道路網の整備はどう進めていくか。

質問 国道293号の改良事業の進捗状況は。
答弁 本事業は県の事業であり、矢又地区は、令和4年度より調査

町民憲章

質問 町民憲章と振興計画の整合性についての考えは。

答弁 町の理念である町民憲章は、次期総合振興計画においても、しっかりと生かさなければな

質問 かじを取る立場として強い思いを抱いているとのことについて、具体的に町長の考えは。

答弁 議員として8年間、一般質問を通して様々な政策を提言し、実現に向けて振興計画への反映を強く訴えてきた。温めてきた1つの政策実現に向けて計画の細部へ入り込んでいきたい。

20年後の未来のために、希望に満ちた計画になるよう、しつかりと取り組んでいきたい。

一般質問！ 矢後紀夫 議員

Q デマンドタクシーの利便性向上について

デマンドタクシーの那須南病院への乗り入れは

(町長) 実現に向けて検討している



矢後紀夫 議員

質問 将来的に町民の満足度向上のため土日運行を目指す考えがあるか。

答弁 運行事業者が現在1社のため、現時点でデマンドタクシーの土日運行は難しい。

デマンドタクシーの利便性向上

質問 町民が切望しているデマンドタクシーの那須南病院への乗り入れを再度提案する。

答弁 町民の要望に応え、実現に向けて運行事業者と協議、検討に入つた。

質問 現在の1日6便の運行体制から、最低でも1日10便の運行体制にするべきと考えるが。

答弁 利用者の待ち時間の長さや、町民の要望を考慮して増便を検討する。

質問 将来的に自由に乗降可能な運行体制を目指す考えがあるか。

質問 町長公約にある、A-デマンド交通導入についての考えは。

答弁 地形的な課題や既存タクシー事業者との競合問題があるため、自由化ではなく乗降場所の追加で利便性の向上に努めたい。

質問 小学生が一人でもデマンドタクシーに乗車可能にし、屋内水泳場にも容易に出かけられるよう、利用条件の見直しをするべきでは。

答弁 施設利用にも地域的不公平差が生じないよう条件見直しを検討する。

質問 現在の48箇所ある乗降場所は、市街地に集中していて移動範囲に隔たりがあるため、乗降場所をまだ増設するべきでは。

答弁 利用者や町民の要望に沿つて今後乗降場所の増設を検討していく。



デマンドタクシー

質問 利用者の大半が高齢者である現状から、A-Iもスマホアプリ予約も、利用者からは受け入れ難いシステムではないか。

答弁 A-Iデマンド交通システムの周知とスマートフォン講習会などの実施が効果的であると考え対応していきたい。

質問 現在の利用者減少、収支率低下のデマンドタクシー事業において利便性向上施策、A-Iデマンドシステム導入の財源をどう考えているか。

答弁 引き続き活用可能な補助金の調査研究と利用者増によって財政負担の軽減に努める。

一般質問！ 小川正典 議員

Q 改修した小川放課後児童クラブについて
Q ジビエ活用の見通しについて
Q 熊出没時の対応について

小川放課後児童クラブに常設ではなく

仮設トイレを設置した理由は

(町長) 建物の構造・面積や立地上、

常設トイレの設置は難しいため



小川正典 議員

質問 仮設とは一時的に設ける施設であり、仮設トイレを使い続けることは、安全・安心な居場所を提供する理念に反していると考えるが。

答弁 永久に固定せず、一定期間使用する。



小川放課後児童クラブの仮設トイレ

質問 移転に伴う改修内容は。

答弁 出入口の新設及び照明をLED化に改修し、仮設トイレを4基設置したほか、雨よけの設置、桜の木を伐採した。

ジビエ活用の見通し

質問 捕獲されたイノシシの受け入れ再開時期の見通しは。

答弁 年間60頭検査し豚熱に感染したイノシシが1頭以内であれば、令和8年8月再開可能である。

質問 当町は近くに豚舎があることから、陽性率の基準が5%と他の地区的10%と比べて厳しいのか。養豚業者を豚熱感染から守るために必要な措置である。

質問 町内でライフル銃を所持している方の人数は。

答弁 当面は現在の設備で運営していく。

質問 豚熱感染の撲滅を図るために、県に対しワクチンの空中散布回数を増加する要請を。答弁 豚熱感染を防ぐ有効な手段なので実施回数の増加を要望する。

質問 児童が移動する通路に雨水用のマンホールの段差があり、ケガをする恐れがある。対処方法は。

答弁 学校の敷地であり、所管課だけでは判断出来ないので、可能な対処方法は学校と相談する。

質問 危険な箇所について、安全性を確認しないと対処出来ないではない。すぐ修繕を図って頂きたい。

答弁 教育委員会事務局及び学校と相談し協議する。

質問 ワクチンの散布している地域は。

答弁 馬頭地区の国有林がある地域で、小砂、和見、大内、大那地、矢又、富山、松野などである。

質問 ワクチンの散布している地域は。

答弁 町内で捕獲した鹿の受入は可能と考えるが、施設の設備や衛生面を確認するとともに、他の市町を参考に、調査・研究する。

熊出没時の対応

質問 当町において、熊の出没が確認された場合の対応は。

答弁 熊等出没時対応マニュアルを作成中で、関係機関や町民に緊急告知など、情報発信する。

質問 町内でライフル銃を所持している方の人数は。

答弁 3人である。

一般質問！ 川俣義雅 議員

Q 町職員の働く環境について
Q 空き家バンクの取組について



川俣義雅 議員

町職員の働く環境の改善が必要ではないか

(町長) 改善は不可欠。適切な給与を合わせて町民サービスにあたりたい

質問 そのほかにサービス残業があるのではないか。

答弁 あることは承知している。

町職員の働く環境

質問 町長と町職員が心を合わせて町民のために働くためには働く環境が重要であると考えるが、職員の仕事量についてはどうか。

答弁 年次有給休暇を取る割合は少し増えているが、時間外勤務は増えている。

質問 超過勤務はどれほどか。

答弁 一日一人当たり平均50分程度である。

質問 日本人の平均労働時間は欧洲諸国より年間300時間多いと聞いているが、町が適正と考える職員数に対し現状はどうか。

答弁 計画の223人に対し、現状は209人となっている。

質問 計画通りに職員が増えない原因は。

答弁 民間との競争や専門職の確保が困難なことがあげられる。また、早期退職もある。

質問 日本の公務員の人事費は〇ＥＣＤ平均の約半分で最低。県内11町の中で那珂川町の給与水準は。

質問 引き上げることは可能か。

答弁 徐々に上げていくことはできる。

質問 町職員の働く環境を改善すべきと思うが。

答弁 改善は不可欠。適切な給与水準、ワークライフバランス、チームワークの強化等でやりがいをもって町民サービスにあたりたい。

フォームを行い希望者に貸し出しをしているが、多くの検討課題があるため、今後必要性を判断したい。

質問 物件登録数の増加に向けた

答弁 今後の取組は、物件登録説明会等で、空き家バンクの認知度をさらに上げたい。

質問 物件登録数の増加に向けた今後の取組は。

答弁 物件登録説明会等で、空き家バンクの認知度をさらに上げたい。

質問 空き家バンク事業の物件登録数、利用希望者数、契約数の推移は。

答弁 直近3年間の登録はR4..11件、R5..16件、R6..12件。利用希望者はR4..47件、R5..43件、R6..77件。契約はR4..8件、R5..9件、R6..8件。

質問 物件登録したものは高確率で契約につながっているのが重要。登録を増やすために行っていることは。

質問 富山県上市町では「0円空き家バンク」事業を行っている。ぜひ、検討してもらいたい。

答弁 空き家バンクの周知等を工夫、努力してきた。

質問 調査検討していきたい。



町の地域資源情報バンク(空き家バンク)のサイト

一般質問！ 福田浩二議員

Q 公共事業の発注について
Q 町長の公約にある通学、通勤者への交通費支援について

政治倫理上、透明性についてどのような考え方を

(町長) 利益相反と疑義を抱かれるような行為を厳に慎む



福田浩二 議員

質問

発注者が町長、受注者が町長の親族会社というのが、まさに利益相反に当たるのではないか。

答弁

町長の親族が経営する法人については特段制限する規定はない。町の入札契約や事務執行においては、公平性や透明性に努め厳格な入札事務を執行しているため、利益相反には該当しないと考える。

公共事業の発注

質問

町の公共事業は金額が大きいものが多々あるが、どのような方法で発注しているのか。

答弁

町長は政治倫理上透明性についてどのようなお考えを持っているか。

答弁 私の職務は、町民全体の利益を守り、負託に応えることである。適切に事務執行を行い、その職責を全うしていくたいと考える。

公共事業の発注

質問

町の公共事業は金額が大きいものが多々あるが、どのような方法で発注しているのか。

答弁

入札方法については一般競争入札、指名競争入札、随意契約の3つの手続により行っている。また、電子入札システムの導入に併せて、建設工事、建設関連の業務委託においては予定価格を事前公表している。

質問 通学・通勤者への支援

公約にある「日常生活を快適に過ごせるために」の中の学生と社会人のための交通費支援制度の考え方は。

答弁

町外へ通勤、通学をされている町民の経済的な負担軽減を図り、将来にわたり安心して町内で生活していただけるよう支援制度の創設について検討をしていきたいたい。その中でも、町外への通学者に対する支援を優先的に進めたいと考える。

質問

雇用されている人には通勤手当が支給されていると思うが。

答弁

町が支援することで通勤手当が調整されてしまうようでは本未転倒。町民が支援による利益を享受できるよう慎重に検討したい。

質問

支給は不公平感があり、距離計算では、計算が複雑化してしまうと思うが。

答弁

通勤距離や単に町外だからということでは公平性の確保が難しい。今後、制度の詳細について詰めていきたい。



一般質問！ 神場圭司 議員

Q これからのスポーツ振興について

町長の公約にはないスポーツの重要性についての考えは

(教育長) 町長の想いを次期計画において具現化していく



神場圭司 議員

質問 関係団体の盛り上がりを把握するなどして、検討していきた
い。

答弁 他市町ではメリットがある
から地域支援パートナー協定を締
結していると考えるが、町には必
要ないとxca。

質問 現時点ではパートナー協定
を結ぶ予定はないが、町にとつて
のメリット、効果を他市町から聞
き取りをするなどして検討する。

質問 スポーツの振興のためにブ
ロスポーツ地域支援パートナー協
定を結ぶべきと考えるが。

答弁 町全体の機運や町民の関心
に応じて必要であれば調査研究を
進めしていく。

質問 今後も更にプロスポーツ選
手が輩出できるよう、町が主体と
なった教育プログラムを企画・実
施していく考えは。

答弁 特定のスポーツに対して限
定的に支援することは、町のス
ポーツ、レクリエーションの振興
における多様性を重んじる趣旨と
は異なるため、プロスポーツ選手
育成のための教育プログラムは実
施しない。



日本サッカー協会による巡回指導



質問 充実したスポーツ活動を行
うためには、既存施設の機能強化
や新たな施設整備が必要であると
考えるが。

答弁 現在の施設の運営状況や設
備の老朽化度、利用率などを参考
に社会体育施設再編計画により計
画的に進めていく。

質問 各スポーツに合った専門の
施設が町にも必要と考えるが。

答弁 町全体のスポーツ振興や体
育施設の在り方を検討する中で專
門の施設が必要か調査研究を行
っていく。



主題～那珂川町に望むこと～

質問 昨年、表紙に私たちを取り上げていただきたいことをきっかけに、初めて議会だよりを読んでみたが、文字が多く、もつと画像やイラストが増えたら興味を引きやすいと感じた。そこで、今後小中高生でも読みやすくするために、何か考えていることはあるか？

(3年・薄井梨紗さん)

答弁 議会だよりにはモニター制度があり、モニターになっていた

度で、那珂川町議会と馬頭高校生との意見交換会を11月6日に議場で開催しました。馬頭高校からは、生徒会役員の生徒11名が参加し、「これからも住み続けたい那珂川町と一緒に語ろう」をテーマに議員と意見交換を行いました。

議題1では、「議会だよりのこが聞きたい」と題して、高校生にとって議会だよりはどのような存在なのか、どのような内容なら興味を持つて読んでもらえるのかなど、若い世代の方にも読んでもらえる工夫について意見交換をしました。

広報紙「議会だより」の 「ここが聞きたい」

議題1



議員へ質問する高校生

(3年・桑野琴音さん)
答弁 現在の広報委員会において、SNSへの投稿は考えていな
いが、若い人たちが求めているのであれば、協議しながらSNSの活用を考えていきたい。

質問 議会だよりの内容を、若者が日常的に使用しているSNS等に動画として載せることが良いのではと感じた。町の議員さんがYouTubeの広告で活動内容を流

しており、学校中で話題になるほど影響力があったことから、SNSの活用により、若者が議会について知る「きっかけ」になると考えた。そこで、今後SNSを活用した広報を実施していく予定はあるか？

いっている。議会だよりの記事は、内容が難しい部分が多いので、写真を多くしたり、言葉の意味を分かりやすくしたりするなど工夫はしている。今後も皆様に読んでもらえるよう改善していく。

議会だよりの記事は、内容が難しい部分が多いので、写真を多くしたり、言葉の意味を分かりやすくしたりするなど工夫はしている。今後も皆様に読んでもらえるよう改善していく。

議題2

馬頭高校存続のために町ができることは?

議題2では、「馬頭高校存続のために町ができることは?」と題

ため町ができることは?」と題して、馬頭高校における生徒数の減少は、学校運営の存続を危惧するものであるとして、高校存続に向けた現実的かつ効果的な支援策について意見交換をしました。

質問

近年、学校祭ではクラス数

減少の影響から、出し物の数も減り、盛り上がりにかける部分がある。そこで、個人のお店やキッチンカーなどを学校祭に呼びることで学校祭が盛り上がり、中学生へのアピールにも繋がると考える。このような取組は可能か?

(2年・間根山由奈)

答弁 個人のお店やキッチンカーを呼ぶことは可能であると考える。昨年、烏山高校における成功事例もある。

る。そこで、高校生の就職に対しても何か支援を行う予定はあるか?

(2年・荒井凪紗)

答弁 馬頭高校の先輩で、インターナンシップから役場に就職した事例もある。高校生と地域の企業が、インターナンシップなどにより繋がる機会が増えていることは素晴らしいこと。議会としても町を通じて機会を増やすことができるよう、積極的に要望していく。



高校生の質問に答える議員

議題3

これからこの那珂川町に望むことは?

答弁 町の水産業は、過去に温泉トラフグやナマズなどもあったが、養殖がうまくいかず、現在は撤退してしまった。その他に、ホンモロコもあるが、雇用を創出するほどではない。

議題3では、「これからこの那珂川町に望むことは?」と題して、高校生が町に対しても思っていることについて意見交換をしました。

質問

私や友人達は、定期試験前の勉強場所に困っている。普段は放課後に教室で先生方に勉強を教えていただいているが、バスの終

便の影響から18時までしか残ることができず、私が住んでいる地域には帰宅後に勉強を教えてください。そこで、無料の塾のようなものを、町内に開設する予定はあるか?

(3年・山崎真衣)

答弁 公営塾を実施している自治体はあるが、設置するには様々な問題がある。議会としてもどのようなしていくことが良いのか、研究していく。また、町には「HITOTEMA」がありコミュニティスペースもある。

答弁 町の水産業は、過去に温泉

ことは、豊かな自然を活かした山登り場などのアクティビティ施設の充実である。これにより、町民の健康促進イベントの開催や、町外からの観光客が遊びに来るなど、町の活性化となり、その結果として、移住者が増えるなど、人口の増加にも繋がると考える。そこで、このようなアクティビティ施設を充実させる予定はあるか?

(3年・國安優心)

答弁 町に施設があれば、交流人口の増加が見込まれる。とても良いアイディアであると思う。今後、議会からも提案するなど、実現に向け検討していきたい。



全員での記念撮影

質問 馬頭高校では、企業説明会を定期的に行ったり、2学年時には一週間のインターンシップを行つたりしている。町が主体で地元企業・商店へのインターンシップの機会をさらに増やすことで、馬頭高校生の進路が充実し、馬頭高校の存続に繋がると感じているか?

(2年・橋本旬)

質問 馬頭高校は全国唯一の内水面水産科があるのにも関わらず、町内で就職できるところは「ぐわづか」である。町が何らかの支援を行い、馬頭高校生が就職できる地元の水産業が増えるような支援はあるか?

議会報告会の開催

＼ 町民と議員がワークショップ形式で意見交換を実施 ／



那珂川町の魅力をみんなで考えよう！

～輝きとうるおいにみちあふれた わくわくするまちへ～



あいさつする益子明美議長



発表する高校生

1月17日に小川総合福祉センターの多目的集会室において、議会報告会を開催しました。報告会には、高校生を含む26名が参加し、6つのグループに分かれて「那珂川町の魅力をみんなで考えよう」をテーマに意見交換を行いました。また、今回の意見交換は、前回に引き続きワークショップ形式を取り入れた形で実施し、参加者のみなさん同士、活発に意見を出し合っていました。

意見交換では、「全員が発言すること」、「発言した人の意見を否定しないこと」をルールとし、各議題について熱心に議論がされました。また、グループには議員も加わり、作業の進行管理や意見のまとめなど参加者と協力してワークショップを行いました。

議題1

那珂川町の魅力は？

意見交換の前半は、「那珂川町の魅力は？」をテーマに、話し合いました。参加者は、自分の意見を付箋紙に書いて模造紙に貼つていき、意見が貼られると、共感や新たな気づきの声が聞こえ、盛り上がりを見せながら意見をまとめていきました。出された意見は参加者同士が協力して分野ごとに整理し、発表を行いました。

議題2

魅力をどのように発信するか？

意見交換の後半は、「魅力をどのように発信するか？」をテーマに、前半で出し合った町の魅力を、どう発信していくかを話し合いました。中には、議題1でまとめた模造紙を壁に貼つて、どうしたら効果的な発信ができるかなどを議論しているグループもありました。各グループにおいて出された意見で多かったのは「SNSの活用」であり、特に若い世代へ魅力を伝えるツールとしては重要であると感じました。



グループ内の意見交換の様子



グループごとにまとめた意見を発表

■那珂川町の魅力

- ・ 生活がしやすい気候
 - ・ 人と自然の距離が近い
 - ・ 歴史や文化が人を惹きつける
 - ・ 自然が豊かで貴重
 - ・ 農業が盛んで食の産物が多い
 - ・ 特色のある馬頭高校水産科がある
 - ・ おいしい食べ物がたくさんある
 - ・ たくさんの温泉がある
 - ・ 優しい人が多い
 - ・ 人情深く、温かく、元気な人が多い



ファシリテーターを務めた矢後紀夫議員

- ・ SNSによる拡散
 - ・ ターゲットを絞つて発信する
 - ・ 食でギネスに挑戦（イチゴ大食い、日本一長いそば等）
 - ・ 馬頭温泉郷とまほろば温泉をつなぐ空中ケーブルカーを設置
 - ・ 「ナカスイ」アニメ化、実写化
 - ・ 役場内に情報発信課の設置
 - ・ 温泉スタンプラリーの実施
 - ・ 自然、文化、食を生かした観光ツアーやイベント
 - ・ 首都圏でイベントを開催し、特産品を販売する
 - ・ 有名人を呼んでマスメディアでPRする
 - ・ 東京に那珂川町のアンテナショットを作る
 - ・ 馬頭高校水産科でサミットを開催する

■魅力をどのように発信するか



総務産業常任委員会
那珂川町消防団と意見交換

総務産業常任委員会は、11月18日に那珂川消防団と意見交換会を実施しました。

意見交換会では、川上満団長をはじめ5名の役員らが出席し、団体の現状や、課題として団員の確保や装備品の充実などについて意見交換を行いました。意見の中では、様々な手法による団員確保や安全に活動できるよう装備品の充実が必要であるなどがあげられました。



消防団との意見交換

教育民生常任委員会
那珂川町PTA連絡協議会と意見交換

教育民生常任委員会は、12月9日にPTA連絡協議会と意見交換会を実施しました。

意見交換会では、関根沙織会長をはじめ8名の役員らが出席し、PTAの在り方や中学校部活動の地域移行における課題などについて意見交換を行いました。意見の中では、少子化が進む中で中学校部活動の存続を不安視する声や今後はPTA活動が保護者の負担とならないような工夫が必要であるなどがあげられました。



PTA連絡協議会との意見交換

聞いてみた

二十歳のいま、政治ってどう思う? ～二十歳の祝い議会に関するアンケート～

1月11日、あじさいホールで行われた「二十歳の祝い」には、益子議長をはじめとする議員たちが参加し、若者たちの門出をお祝いしました。

また、二十歳を迎えた若者たちに政治や議会への関心を高めてもらうため、昨年に続き「議会に関するアンケート」を実施しました。アンケートは、選挙を行ったことがあるなど全10項目あり、式典に出席した86名に配布し、式典終了後に議員が回答を呼びかけた結果、66名が回答しました。(回答率76.74%)

問 選挙権を得てから選挙には行きましたか?

- ・はい 41名
- ・いいえ 23名

問 どのような選挙に行きましたか?
(複数回答可)

- ・国政選挙 14名
- ・知事選または県議選 15名
- ・町長選または町議選 27名

問 国会やあなたの地域の議会を傍聴またはテレビやYouTube等で見たことがありますか?ある方は、何で見ましたか?

- ・ある 26名
- ・ない 38名

問 若い世代が議会に興味を持つためには、どのような事が必要と考えますか?

- ・若者に伝わりやすいSNSを活用する 39名
- ・若い人が議員になる 18名
- ・学校で議会のことを学ぶ機会を設ける 9名

問 議員になってみたいと思いますか?

- ・はい 4名
- ・いいえ 61名

問 これからも那珂川町に住み続けたいですか?または、将来戻ってきたいですか?

- ・はい 24名
- ・いいえ 39名

問 那珂川町をどんな町にしたら良いと思いますか?(自由記載)

- ・交通の便を良くする
- ・若い人向けの施策を行う
- ・人が集まる町
- ・活気あふれる町
- ・高齢者に優しい町
- ・商業施設を増やす
- ・自然の豊かさを守る
- ・元気に明るく暮らせる町

問 那珂川町議会へのご意見・ご要望などがあればご記入ください。

- (自由記載)
- ・良い町にしてください
 - ・頑張ってください
 - ・商業施設を増やしてほしい
 - ・バスの本数を増やしてほしい



議会改革の調査結果を報告

(12月定例会最終日)

特別委員会設置から3年、7項目の検証結果は…



調査報告をする大金市美委員長

12月5日、定例会最終日に議会改革特別委員会の大金市美委員長が議会改革特別委員会調査報告を行いました。議会改革特別委員会は、令和4年12月定例会において設置され、議員全員を委員として3年間に渡り、調査・検討をしました。委員長は、各項目の成果について説明した後、当町における議会改革の経過を踏まえ、今後も、より質の高い議会運営を目指して行くとともに、住民の付託に応え、議会の役割を十分に果たす必要があるとし、継続的な取組の重要性についても説明しました。

●議会改革特別委員会調査報告書

<議会基本条例の検証>

平成26年3月に制定されてから約10年が経過し、施行後初めての検証を行いました。検証結果は、概ね達成できていることが確認できましたが、本条例は町民と議会をつなぐ重要な枠組みであることから改善を重ね、開かれた議会の実現に向け、引き続き取り組むこととしました。また、今後は議会運営委員会において検証していくこととしました。

<議会業務継続計画(BCP)の策定>

議会業務継続計画は、町地域防災計画及び町防災会議に基づき、風水害・地震や重大な感染症の拡大などの、緊急事態が発生した際にあっても、議決機関として会議の迅速な意思決定及び議会の機能維持を図るため、災害等発生時における組織体制、議員の役割及び行動方針などを定めるために策定しました。

<議会会期のあり方>

議会会期は、通年議会の導入について調査・検討を進めてきましたが、現状の議会運営で不都合が生じていないことから、引き続き議会運営委員会において検討していくこととしました。

<ICTの活用>

近年のデジタル技術の急速な発展とともに、議会においてもICT活用の重要性が高まっていることから、様々な視点から調査・検討を行いました。その結果、現時点における必要性等を考慮し、今後も継続的な検討が必要であるとしました。

<議員定数の見直し>

議員定数については、今後も見込まれる人口減少や議員のなり手不足、町の財政状況などを考慮し、定数を削減する必要があるとする一方で、町民の声が届きにくくなるなどの意見がある中、調査・検討を重ねました。検討にあたっては、議会基本条例に基づき、参考人招致や公聴会、町民説明会を実施し、幅広く町民から意見を聴きました。その結果、議員定数を削減しても議会の機能を損うことなく、町民の付託に応えられるよう、議員一人ひとりの資質の向上に努めることとし、議員定数を現在の13人から2人減の11人としました。

<議員報酬の見直し>

議員報酬については、合併後約20年間見直しが行われていないことや、現在の報酬額が近年の物価高騰等の社会情勢に対応できていないことなどを理由として増額を検討してきました。報酬額の算定にあたっては全国町村議長会で提言している、議員の活動量と首長の活動量を比較し、適正な報酬額を算出する、「原価方式」により算出しました。見直しにあたっては、議員定数と同様に参考人招致等を経て多くの意見をいただき進めてきました。その結果、町の財政を考慮したうえで、社会情勢への対応や議会活動の多様化、なり手不足の解消を理由として、議員報酬の額を現行の22万円から5万円増の27万円に増額することとしました。

<政務活動費の導入>

政務活動費については、議会の活動量は増えている傾向にありますが、町への財政負担を考慮するとともに、議員報酬の範囲内で効率的な活動が行えるよう、各議員において努力すべきとして、現段階で政務活動費の導入は行わないこととしました。

議会広報モニター からのご意見ご感想

議会広報モニターさんから寄せられた議会だより第81号(前号)に関する「意見・ご感想について、一部を」紹介します。

各種補助金の申請件数が少ないのは、どの様な補助金があるのか知らないからではないか。

各種補助金の申請件数が少ない原因の一つとして、どんな補助金があり、どんな条件なのかなどの周知不足にあるのではないかと考えます。

先月に議会モニター懇談会が開催され、2名の出席で3名の方が欠席で大変残念であった。モニターの中に中学生がいらっしゃるか平日の午前中の会議に出席できるのであるうか。日時の設定に問題はないだろうか。

出席者が2名にとどまり、3名の方が欠席されたことを残念に感じております。また、中学生のモニターの方にとつて平日午前中の参加が難しいのではないかとのご指摘については、貴重なご意見として受け止めております。今後は、多くの方が参加しやすいよう、日時設定の見直しも含め検討してまいります。

報の一覧性・申請条件の理解についての(1)指摘は、関係部署へ
しつかりお伝えします。

他市町への視察が、当町ではどう
のように取り入れていくかのビジ
ョンを示していく、とてもわかつ
りやめて良かったです。

委員会より…

当町での活用の方向性が分かり
やすかつたとの評価を頂戴し、大変
励みになります。今後も分かりやす
い情報提供に努めてまいります。

「決算審査特別委員会の付帯意見」が掲載されておりましたが、特に各種補助金の見直しについて、申請件数の少ない理由が気になりました。私が一人の町民として、受けたい補助金を調べようとした時、那珂川町のHPはとても分かりにくく感じます。各種補助金の一覧性や魅力の訴求、申請条件を分かりやすく見直していただきたいたいと思います。

教育民生常任委員會

開催日
12月4日

町へ提出する要望書への要望項について協議を行いました。

◆第4期那珂川町地域福祉推進プラン（案）について

◆那珂川町健康増進計画(案)に

について
【健康福祉課】
健康なかがわ21プラン・2期計
画の中間見直しにより策定する本
計画について説明を受けました。

《常任委員会の経過》

令和8年度から全国の自治体で実施が義務となる本事業について説明を受けました。

《特別委員会の経過》

開催日 11月18日
議会改革特別委員会調査報告書
(案)について協議を行いました。

議会広報特別委員会

議会だより（当号）における表紙等の題材や原稿の担当について協議するため、編集会議を行いました。

開催日 1月29日

議会だより（当号）における、誌面構成の最終確認のため編集会議を行いました。

支援事業について 【子育て支援課】

令和8年度事業の

12月23日に、益子明美議長と福
田浩二副議長が町長室を訪れ、令
和8年度の施策等に関する要望書
を益子純恵町長に提出しました。

た各常任委員会における行政視察や団体との意見交換会で出された課題などをもとに、町の重点施策の拡充など6項目をまとめました。益子純恵町長も、しつかり取り組んでいきたいと話されました。



益子純恵町長(左)に要望書を提出

研修会では、全国町村議会議長会において、栃木県町村議会議長会が主催による町村議会議員研修会が開催されました。



講義をする渡辺太樹氏

会議事調査部の皆川貴史氏から、「議員報酬の改善に向けた現況と課題」として、町議会の実態を踏まえた報酬改善はもとより、今後の議会活動の在り方について講演がありました。

議会のうごき & 内容

| 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|---|---|------------------------------|----------------------------|
| 10日 議会改選特別委員会 （団体との意見交換会） | 27日 南那須地区広域行政事務組合議会議員全員協議会 （宇都宮市南那須地区広域行政事務組合議会臨時会） | 17日 議会報告会（小川総合福祉センター） | 10日 教育民生常任委員会 （議案審議） |
| 18日 総務産業常任委員会 （議案審議） | 2日 令和7年第6回議会定例会（議案審議） | 20日 山形県最上町議会視察来町 | 2日 議会改選特別委員会 （議案審議） |
| 25日 栃木県町村議会議長会議員研修会 （宇都宮市議会全員協議会） | 3日 令和7年第6回議会定例会（一般質問） | 22日 議会広報特別委員会（第21回、82号編集） | 2日 議会改選特別委員会 （議案審議） |
| 26日 議会全員協議会 | 4日 令和7年第6回議会定例会（一般質問） | 26日 議会研修会 | 2日 議会改選特別委員会 （議案審議） |
| 30日 和歌山県かつらぎ町議会視察来町 | 5日 令和7年第6回議会定例会（議案審議） | 29日 議会広報特別委員会（第22回、82号編集） | 2日 議会改選特別委員会 （議案審議） |

